

インティマレーザー治療についてのご説明と同意について

【治療の目的】

インティマレーザー治療は、レーザー光を腔内及び外陰部に照射し、年齢とともに減少したコラーゲンの産生を促進し、骨盤底筋を刺激することで、腔・腔口の弛緩や腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱、萎縮性膣炎の症状を改善させる治療です。

【治療の方法】

- ① インティマレーザー治療では専用のアプリケーターを使用し、腔内及び外陰部にレーザーを照射します。
- ② 麻酔: 腔の奥は熱や痛みを感じにくいのですが、腔口付近は熱に敏感なため腔の入口付近に治療の前に麻酔クリームを15分～20分程度塗付します。治療中は麻酔が効いていますので痛みはありません。部分的に少し熱さを感じる程度です。
- ③ レーザー照射: 腔内及び外陰部にレーザーを照射します(10分程度)。
- ④ 治療後: 治療後すぐに日常生活に戻っていただけます。腔内は3日程度安静に過ごしてください。

【治療のサイクル・回数】

4～8週間間隔で症状に合わせて1～3回程度治療を行うと上記の症状が徐々に改善します。症状の強い方には、3回以上行う場合もあります。1クール治療後は、1～2年に1回程度、定期的に治療を継続して効果を維持することをお勧めしています。当院では医師の診断のもとに最も効果的な治療が行えるように症状に合わせて出力・設定・治療回数などを調整しています。

【主な効果】

・腔口のゆるみの改善・お湯漏れ症状の改善
・腹圧性尿失禁・混合性尿失禁の改善(くしゃみや咳・運動時におこる尿漏れ・頻尿の改善)
・閉経関連泌尿生殖器症候群・萎縮性膣炎の改善(加齢・ホルモン低下による腔のかゆみ・性交痛などの改善)
・骨盤臓器脱の改善(骨盤底のゆるみや腔壁の弛緩に伴う子宮・膀胱・直腸が腔内に下垂する症状の改善)
レーザー治療の効果は通常数週間かけて徐々に表れますが、効果の現れ方には個人差がありますのであらかじめご了承ください。

【治療前の注意点・治療を受けられない患者様】

光過敏症・光アレルギー・てんかん・ヘルペス・カンジタ・その他の感染症の症状や既往のある場合は、事前にお知らせください。生理中・妊娠中・悪性腫瘍やその他進行性の疾患のある患者様には治療を施術しません。

【治療後の注意点】

治療後は以下のような症状が現れることがあります。通常は時間とともに改善しますが、気になる症状があった場合には担当医までご連絡ください。

1. 発赤・浮腫・部分的熱感(100% 3日程度)
2. 治療中の軽度の疼痛(14.7% 治療中)
3. 水溶性の帯下(おりもの)の増加(5.4% 数日～1週間)※
※ 治療の刺激によって一時的に帯下が増加することがありますが心配はいりません。1週間程度で収まってくるので、ナプキンやパッドで対応してください。
4. 治療後の軽度の疼痛・ひりひり感(4.3% 数時間～数日)
5. 微量の出血(3.7% 数時間)
6. 一時的な切迫性尿失禁(尿失禁レーザー治療時 3.2% 1～3週間)※
※尿失禁の治療後は、治療効果の一環として一過性の過活動膀胱症状が起こることがありますが、心配はいりません。ナプキンやパッドなどで対応してください。
7. 軽度の熱傷(1.6% 数日～1週間)
・レーザー治療当日はシャワーのみにして、湯船での入浴は控えてください。
・レーザー治療当日から3日間は、性行為・タンポンの使用など腔内に何かを挿入することは避けてください。

【その他の事項】

・経過観察のためレーザー照射部の写真をカルテに残します。外部に漏れることがないよう厳重管理下で保存しますのでご安心ください。

上記の内容を理解し、施術を受けることに同意いたします。

_____年____月____日 氏名 _____